



東部小学校

私は将来「バドミントンの選手」になりたいです。バドミントン選手になり東京オリンピックに出るため日々がんばって練習しています。昨年は佐賀の代表として、九州大会に出ました。しかし、一回戦で負けてしまつたので、くやしかつたです。

これから、つらいことも  
かなしいことも、がんばつ  
いきたいです。

そして、九州一位や全国  
位などの夢に向かって、一  
歩ずすんで行きたいと田  
中さんです。

これからもがんばりなが  
強くなりたいと思います。

の佐賀代表を決める大会でも  
がんばって四位までに入つて、  
九州大会まで行き、全国大会  
に行きたいです。



小学  
校

ぼくの将来の夢は、プロ野球選手です。なりたいと思つたきっかけは、初めてヤフオクドームにいって、ホークス対中日ドラゴンズの試合を見たことです。選手が打って走つて投げてまもつてと、プレーするのがとてもかつこよくて、プロでぜつたいいつか活やくすると思って、ずっとプロ野球選手を夢に思つていま

たい活いつそのでも連して今ほんじてとは金す。



「家庭の日」

講義の吟ひ

僕は、小さいころから父

僕は、小さいころから父の料理をする姿を見てきました。毎日とても熱い厨房で重い調理器具を使って料理をする父は、自分の中ではどんなものよりも強くかつていい存在で、そんな父をみていたら自分も将来料理をする仕事がしたいと思うようになつて、料理人を目指すようになりました。

僕は料理に興味を持ったところから、時間があれば包丁を握って食材を切つたり教えてもらひながらいろいろなものを作つたりしていました。そのうちに難しい魚のさばき方や器用に包丁を使って食材を切つたりできるようになつていて、料理をすることが楽しくなりました。

これから、もつといろんなものを作つて立派な料理になれるようがんばりました。

私の、将来の夢はファッションドザイナーになることです。ファッションドザイナーになりたいと思つたきつかけはテレビでファッショントレーマにしたゲームのCMをみたからです。ゲームをしてみるととても楽しく、さらに洋服をコーディネートすることに興味を持ちました。

そのうちゲームだけでなく服をデザインしたいと思うようになりました。今色など工夫して好きなように服などをデザインしています。

私は将来自分でデザインした服を見て、着てくれる人が喜んでくれたらしいなあと思います。服を作るファッションドザイナーの私が、服を選んで着てくる人たちも幸せになる、それが私の将来の夢です。

ぼくの将来の夢は、プロ野球の解説者になることです。プロ野球の解説をして日本中のお茶の間を笑顔にし、もつともっと野球に興味を持つてもらいたいと思っています。ぼくは四年生ぐらいからこの夢を抱いていて、自分でプレーをしたりテレビを見たりしている時もつい解説をしてしまいます。

しかし、プロ野球の解説者になるためには、いろいろなかべがあります。まずはプロ野球選手になつて有名にならないといけませんぼくは、二年生から野球をはじめ、ファーストやピッチャーをしています。今後練習して、プロ野球への道を歩んでいきたいです。またすらすら話すためにも、音読なども努力していきたいです。

A circular portrait of a young person with short dark hair, smiling. The portrait is set against a background of yellow and pink flowers. Overlaid on the bottom right of the portrait is the text "七浦小学校 岡 依優" in black, sans-serif font.



ランドセル

日々、一喜一憂している自分がいます。「生きているだけで丸もうけ」この芸人のファンと言う訳ではありますせんし、もしかすると、冗談で発言したものかも知れませんが、これくらい、気持ちにゆとりを持つて、子どもや周囲の人々に接していくければ、自然と幸せになれるともしません。「子育ては、親育て」親の方がまだ成長する必要があるのかもしれません、樂しく子育てができるほど考えて います。

城南中P  
川代 勇一

三年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。皆さんにとって、中学校生活はどのようないろいろな経験をし、立派に成長しましたね。友達や低学年の児童に優しく接する皆さん姿は本当に頼もしく、また心温まるものでした。

先生方や保護者の方も、心から皆さんの成長を喜ばれていることだと思います。

支えてくださった先生方や保護者の方への感謝の気持ちを忘れずに、これからも優しい皆さんでいてください。

これからは、また数多くの経験をし、夢もふくらんでいくわけですが、その途中には、

務教育を終えて、それぞれの道へ進んでいきます。どんなに強い人でもけつして一人では生きていけません。中学校生活で学んだ、人と人とのつながりや、周りの人達への優しい心、思いやりの心を忘れないで下さい。そして、誰よりも皆さんの卒業を喜んでおられるお父さん、お母さん、家族、また応援してくれた方々への感謝の気持ちをいつも忘れないで下さい。

そして、これから始まる新しい生活に向けて自分自身の目標・目的をしっかりと持ち、夢に向かって自分を信じて歩んでいくてほしいと思います。

最後になりますが、私の娘や先輩、たくさんの方々との出会いは、これから皆さん成長していく中で、きっと大切なものになることでしょう。

さて、これから皆さんは義い。」

桜岡小P  
加藤 雅信

三年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。皆さんにとって、中学校生活はどのようないろいろな経験をし、立派に成長しましたね。友達や低学年の児童に優しく接する皆さん姿は本当に頼もしく、また心温まるものでした。

先生方や保護者の方も、心から皆さんの成長を喜ばれていることだと思います。

支えてくださった先生方や保護者の方への感謝の気持ちを忘れずに、これからも優しい皆さんでいてください。

これからは、また数多くの経験をし、夢もふくらんでいくわけですが、その途中には、

決して楽しい事ばかりが待っているわけではありません。

時には乗り越えられないよう

に見える壁にぶつかり、くじ

ょう。

そんな時は、どうか決して諦めず、小学校でがんばった

事や楽しく過ごした時の事を思い出してください。

純粋で多感な小学校時代に

学んだ事、経験した事は、こ

れから先どんなに年をとつても皆さんの原点であり、自分

を導いてくれるすばらしい宝

く地図です。

この宝地図を大切に持つて、

皆さん一人一人が目指す宝物

を探しに行きましょう。

これからからの皆さんのが飛躍、

本当に楽しみにしています。

三根中P  
太郎浦文和

三年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

中学生生活の三年間はみんなにとってどうでしたか? 憶

だこともあつたでしよう。楽

しかつたこともたくさんあつたでしよう。そんな日々の中

みんなは本当に大きくなっています。

六年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

六年生の皆さん、ご卒業お

# 平成26年度 市郡連リーダー研修会

平成27年1月24日(土)於:グランデはがくれ



講演I  
講師 桑崎 剛様

安心ネットづくり促進協議会特別会員

「子どもたちのスピードに負けるな」

講演II  
講師 本田勝一郎様

長崎市教育委員会生涯学習課主幹

永田しのぶ様 森岡潤子様 秀島はるみ様  
「ファミリープログラムについて」

講演

## リーダー研修会に参加して

中央校P 野方徳浩

子どもたちが普通に持っているゲーム機や音楽プレーヤーが驚かされました。自分自身パソコンは周囲より詳しいつもりでましたが本当に社会のスピードに追いついて行つてない事を痛感させられました。小中学校で、スマート社会と遮断出来ない現実があります。ならば、コミュニケーション能力やネット倫理について行つてない事も解消しないようです。

今回の研修会では「子どもたちのスピードに負けるな」保護者が示すスマホ・SNSの使い方」と「ファミリープログラムについて」の二つの講演が行われました。

情報化社会の進展は、目覚ましく我々がいかに戸立てて子どもたちと隔離しようとも出来ない現実を知らされました。スマホや携帯を規制するだけではどうにも解決しないようです。

子どもたちが普通に持っているゲーム機や音楽プレーヤーが驚かされました。自分自身パソコンは周囲より詳しいつもりでしたが本当に社会のスピードに追いついて行つてない事を痛感させられました。小中学校で、スマート社会と遮断出来ない現実があります。ならば、コミュニケーション能力やネット倫理について行つてない事も解消しないようです。

今回の研修から、啓蒙活動を含め教育の大切さを改めて感じさせられました。もつと我々はいろんな人と出会い、体験したる間力を高めて行かなくてはならないと思いました。

今回の研修から、啓蒙活動を含め教育の大切さを改めて感じさせられました。もつと我々はいろんな人と出会い、体験したる間力を高めて行かなくてはならないと思いました。

## 市郡連リーダー研修会

西有田中P 川尻圭輔

二部構成の研修の一部は「子ども達のスピードに負けるな」という演題で、子ども達とネット社会について話されました。ネット社会で起こりうる事故を自動車事故に例え事故が減った最も効果のあった方法は「教育の力」「意識の高さ」であるとの事でした。一昔前までは会話や電話といった言語でのやりとりであったものがメールやSNSという言語とは思えないものに

取つて代わり今や大人も子どもも何時でも何處でも新聞記者の時代となりました。「より更に!」人や人権への配慮、誠意ある言動・文章表現が大切で適切に対応出来る様に育てていく事が課題だと思いました。

二部は「ファミリープログラムについて」という演題で県P研究大会で行われたワールドカーフェ方式でのディスカッションでグループ各々から様々な言葉

が出されました。多くが「早く

しなさい」「片付けなさい」等の

意識に子供を型にはめているの

ではないかと疑問を持ちました。

その為に自己肯定感を持てない

子どもが増えているそうで、結果を認める「頑張ったね」ではな

くありのままを認める「頑張っ

てるね」の方がいいのではないかとの事でした。研修会を通して

大人と子どもの関わりを大事に

し、言葉を使う事、相手を想い

やる事の大切さを改めて学ぶ事

が出来、これから活動に繋げ

ていきたいと思います。

○全国賞 小学校の部 『いじめてないつもが一番こわいかも』

小城市立牛津小学校 4年 山口 瑞夏

中学校の部 『自分より 以上も以下もないんだよだから やめよう いじめと差別』

吉野ヶ里町立東脊振中学校 2年 古賀 愛音

○優秀賞 小学校の部 『かわいそう、たすけたい、そのきもちをこうどうに。』

佐賀市立北川副小学校 2年 小野 泰成

『あなたは私の新友、信友、真友、深友、心友、親友だ!!』

神埼市立千代田西部小学校 5年 古賀 梨奈

中学校の部 『SOSを見つけたら「はじめの一歩は」あなたの勇気』

神埼市立千代田中学校 1年 豊福 彩純

『助けると 自分がされると思ってる いつも考えるのは 自分のこと』

吉野ヶ里町立東脊振中学校 1年 北島 圭将

○PTA推薦賞 小学校の部

・神埼市立神埼小学校(1年)石井 凛

・有田町立有田小学校(3年)森近 成朗

・唐津市立東唐津小学校(3年)山崎 楽人

・佐賀県立武雄青陵中学校(3年)溝上 智明

・嬉野市立塩田中学校(2年)経塚 航大

・神埼市立神埼小学校(2年)千住あかり

・小城市立三里小学校(1年)高木 そら

・伊万里市立伊万里小学校(6年)内田かのん

・唐津市立第一中学校(3年)山村紗希子

(敬称略)

今回の研修会では、まず第一部で子ども達を取り巻くスマホ・SNSの現状を学習しました。ネット教育の第一人者である桑崎先生のお話は、専門的な分野を分かりやすく解説していました。日々ICTが進歩する中、子ども達の周りでどんな状況が作り出されているのか、それに対する保護者にどんなことがで起きるのか。

## 市郡連リーダー研修会に参加して

北鹿島小P 染川康輔

今回の研修会では、まず第一部で子ども達を取り巻くスマホ・SNSの現状を学習しました。ネット教育の第一人者である桑崎先生のお話は、専門的な分野を分かりやすく解説していました。日々ICTが進歩する中、子ども達の周りでどんな状況が作り出されているのか、それに対する保護者にどんなことがで起きるのか。

桑崎先生の第一人者である染川康輔先生のお話を聴き、インターネットは世界とつながるツールであるがゆえにSNSを使う場合はきちんとそのリスクを理解し、賢く利用することが大切であると認識させられました。第二部は、ワークショット形式でファミリープログラムについて学びました。

長崎県PTAの皆さん アイスピ莱キングでなごやかに始まり、あとは講師の本田先生の

## 新春読書感想文コンクール入賞

三万八千三百四十五点の中から

### 佐賀県PTA連合会長賞決定

嬉野小学校 一年 橋本 侑奈  
北明小学校 四年 川崎 陽菜  
鍋島小学校 六年 緒方 健晟  
北波多中学校 二年 松野 果菜子  
佐賀市 一般 佐藤 文香

## 日本PTA心のきずな61教育支援基金ご協力ありがとうございました

皆様からお預かりした募金額は

小学校 48件 中学校 21件 他 5件

526,458円となりました。

皆様のご協力に心より感謝申し上げます。

## 平成26年度 いじめ防止標語コンテスト入賞

たくさんのご応募ありがとうございました。応募総数26,296作品(157校)

○全国賞 小学校の部 『いじめてないつもが一番こわいかも』

小城市立牛津小学校 4年 山口 瑞夏

中学校の部 『自分より 以上も以下もないんだよだから やめよう いじめと差別』

吉野ヶ里町立東脊振中学校 2年 古賀 愛音

○優秀賞 小学校の部 『かわいそう、たすけたい、そのきもちをこうどうに。』

佐賀市立北川副小学校 2年 小野 泰成

『あなたは私の新友、信友、真友、深友、心友、親友だ!!』

神埼市立千代田西部小学校 5年 古賀 梨奈

中学校の部 『SOSを見つけたら「はじめの一歩は」あなたの勇気』

神埼市立千代田中学校 1年 豊福 彩純

『助けると 自分がされると思ってる いつも考えるのは 自分のこと』

吉野ヶ里町立東脊振中学校 1年 北島 圭将

○PTA推薦賞 小学校の部

・神埼市立神埼小学校(1年)石井 凛

・有田町立有田小学校(3年)森近 成朗

・唐津市立東唐津小学校(3年)山崎 楽人

・佐賀県立武雄青陵中学校(3年)溝上 智明

・嬉野市立塩田中学校(2年)経塚 航大

・神埼市立神埼小学校(2年)千住あかり

・小城市立三里小学校(1年)高木 そら

・伊万里市立伊万里小学校(6年)内田かのん

・唐津市立第一中学校(3年)山村紗希子

などを子どもたちと保護者が二人三脚で勉強しなければならないと感じました。

ファミリープログラムでは、

子どものほめ方しかり方を考え

させられました。「何々しなさ

い」はしかつているのではなく

指示との事。わかつていてい

ないと思つてゐるけどわかつて

いな

んだと思いました。

今回の研修から、啓蒙活動を

含め教育の大切さを改めて感じ

させられました。もつと我々は

いろんな人と出会い、体験した

る力を持つてはなら

ないと思いました。

今回の研修から、啓蒙活動を

含め教育の大切さを改めて感じ

させられました。もつと我々は

いろんな人と出会い、体験した

る力を持つてはなら

ないと思いました。

などをしてはなら

いと感じました。

ファミリープログラムでは、

子どものほめ方を考え

させられました。「何々しなさ

い」はしかつているのではなく

指示との事。わかつていてい

ないと思つてゐるけどわかつて

いな

んだと思いました。

今回の研修から、啓蒙活動を

含め教育の大切さを改めて感じ

させられました。もつと我々は

いろんな人と出会い、体験した

る力を持つてはなら

ないと思いました。

などを子どもたちと保護者が二

人三脚で勉強しなければなら

いと感じました。

ファミリープログラムでは、

子どものほめ方を考え

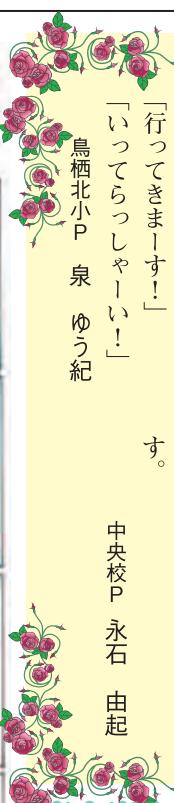
させられました。「何々しなさ

い」はしかつているのではなく

指示との事。わかつていてい

ないと思つてゐるけどわかつて

いな



「お母さん、早くー！」玄関で靴をはいてスタンバイする、息子（中二）と娘（小五）。

ハイタッチ 三回

「行ってきまーす！」

登校前の、我家の習慣だ。

時間のある朝は、登校する子

ども達を、しばらく見送る。見

送る私が合図すると気づく娘。

なかなかおもしろい。

平日は、熊本に単身赴任の主

人。子ども達を朝見送るのは、

私の大切な役目。

「出発前は笑顔で送り出す！」

主人との大切な約束事だ。一日

の始まりを、笑顔で送り出す。

今日は、どんな一日が始まる

かな？どんな出会いが待つてい

るかな？元気に登校する子ども

達から、元気をもらい、私も仕

事へ出発。

今日も笑顔で

「行ってきまーす！」

「いつらっしゃーい！」

鳥栖北小P 泉 ゆう紀